

# コロボックル 物語の 世界

佐藤さとる展  
小さな人への讃歌

2008年  
7月19日(土)  
～9月23日(火・祝)

- ◎観覧時間／10:00～17:00
- ◎休館日／毎週月曜日、第2木曜日  
※ただし7月21日、9月15日、9月22日は開館
- ◎会場／町田市民文学館ことばらんど
- ◎協力／県立神奈川近代文学館、(財)神奈川文学振興会

入場無料

講演会 ※電話による申込み(定員100名) コールセンター／042-724-5656(7月11日 13:00～)

8月9日(土) 14:00～  
「童話」から「児童文学」へー佐藤さとる展のなかで考える  
講師／宮川 健郎氏(武蔵野大学教授)

夏休み創作講座 ※すべて往復葉書による申込み

つくるぞ!自分だけの物語 申込みメ切/7月15日

- 1) アイデアを物語へと育てるには ◎対象/中学生・高校生(定員30名)  
7月30日(水) 13:30～ 講師/吉目木 晴彦氏(作家)
- 2) 童話教室をひらきます ◎対象/小学4～6年(定員20名) ※両日参加  
7月31日(木)、8月13日(水) 13:30～ 講師/国松 俊英氏(作家・児童文学者)

はさみを使って「しかけあそび」の本を作りましょう 申込みメ切/8月6日  
簡単!ポップアップブック講座 ◎対象/小学4年～中学生(定員各10名、親子参加可)  
8月20日(水)、21日(木) 13:30～ 講師/うすいしゅん氏(画家)

貼り合わせてA5判ハードカバーの製本を体験します 申込みメ切/8月6日 ※実費あり  
切って貼るだけ!製本入門 ◎対象/小学4年～一般(定員20名)  
8月27日(水) 13:30～ 講師/大石 寛子氏(手作り絵本作家)

ワークショップ ※いつでも参加できます。希望者は1階カウンターまで

迷路な文学館ーコロボックルを探せ!

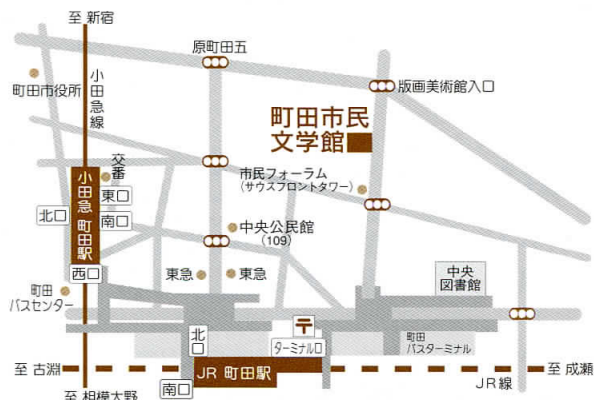
午後の朗読 ※電話による申込み(定員100名) 文学館/042-739-3420

ことばで奏でるコロボックル物語

7月21日(月・祝) 14:00～ 出演/花音(かのん)

展示解説 ※申込み不要 第2、4火曜日(7月22日、8月12、26日、9月9、23日) 14:00～

学芸員によるギャラリートーク



作者の佐藤さとるさんは、コロボックルたちが登場する最初のお話『だれも知らない小さな国』を昭和34年に書きました。西暦でいえば1959年。今から50年近くも前のことです。最初の読者はご自分のお子さんでしたが、たちまち、このお話は多くの子どもたちの心を捉えることになりました。いえ、子どもだけではありませんでした。心に「小さな人」の記憶を残していた大人たちも読みました。この本は日本で生まれた初めての「ファンタジー」小説でした。最初に読んだ子どもたちが大きくなると、その子どもたちが、また読みました。

佐藤さんは、若い画家の村上勉さんに相談して、コロボックルたちの姿を絵にしてもらいました。この展覧会では、その絵もたくさん見ることができます。

50年前に比べると、野原も森も泉もずっと少なくなってしまうました。今、コロボックルたちはどこに住んでいるのでしょうか。うんと探さなくては見つからないかもしれません。彼らがのびのびと安心して暮らせる世界を守る方法を、今は小さく、これから大きくなる人たちに一緒に考えてもらえれば嬉しいです。



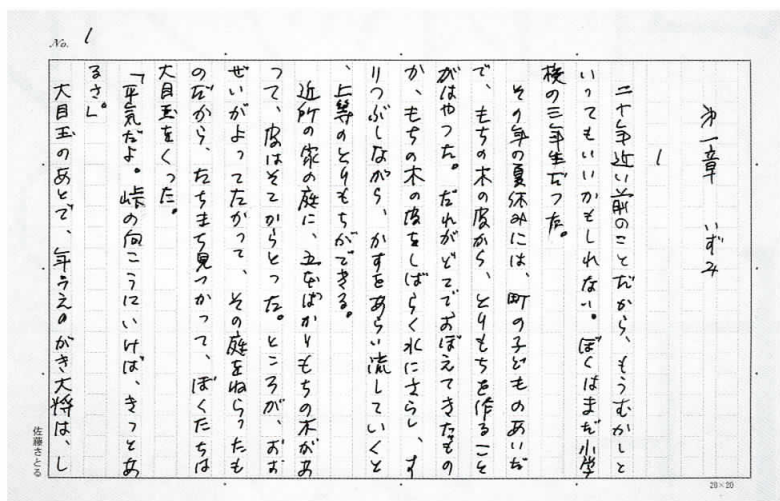
佐藤さとる「クリ・クル」 1945年  
17歳ころに描いた小人



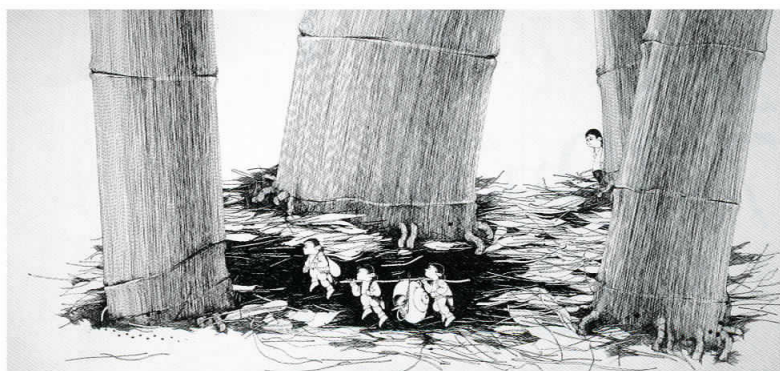
『だれも知らない小さな国』表紙  
(コロボックル通信社、1959年3月11日)



『だれも知らない小さな国』両  
(講談社、1959年8月、若菜経・絵)  
約100部をタイプ印刷で自費出版



佐藤さとる「だれも知らない小さな国」の原稿(浄書)



村上勉「コロボックル物語」のための試作 1961年

表面/佐藤さとる「だれも知らない小さな国」(講談社、1969年11月) 両絵原画(村上勉・絵)